

福島県

福島県

三二便利帳

- 小名浜
サンマの本場。
- 猪苗代町
野口英世記念館。
- 安達町
「智恵子抄」。
- 二本松
ケヤキの家具。箆筒が有名。菊人形は日本最大。
- 檜枝岐村
平家落人伝説。星・橘・平野の3姓のみ。
- 会津若松
全国でも有数の蔵元の町。3km四方の町の中に、約20の造り酒屋がある。小原庄助さんは実在の人物。
- いわき市
13の町村が合併。
- 山都町(ヤマト町)
そばの産地。農家各軒でそばづくり。客がくるとそばを出す。村全体の農家がそば屋に変身。
- 東北の名字は1字多くなる
東北全般「木」、川田土井「尻」、金田「一」、田中「館」、佐々「木」。
- 相馬野馬追(7/23~25)
相馬の祖・平将門が千葉県流山市(下総国)で放牧した野馬を敵に見立て、軍事訓練に励んだのが祭りの始まり。
- 「しんごろう」(郷土料理)
新米の収穫を祝ってつくる。半つきにして丸めた米に香ばしいえごまの味噌を塗り、串に刺して囲炉裏で焼く。昔、新五郎という人が貧乏で餅をつけず、これをつくって神に供えたのが始まり。
- 「こづゆ」
会津若松の祝いの料理。

(梁の木)はやき (梁の花)おもひやくひげ (桐城)全国位

■中通り

「白河以北一山百文」といわれた東北の玄関口である白河に始まり、須賀川、郡山、福島と縦走する線が「中通り」である。江戸時代から、この地区は小藩が入り乱れ、天領化された時期もあり、藩主の交代が頻繁に行なわれた。こうした政治的変化により、会津のようなしっとりとした文化がなく、どこことなくがさつで、隙のない土地柄となった。

「人間関係を尊び、年上を大切にする」と福島の人はいうが、それは会津にいえることで、中通りの人にはそんな思いは微塵もない。小藩が多いということは必ず対立が発生し、全体がまとまって事を起こすにはもの凄い時間とコストがかかる。そのうえ経済や文化の交流が起きず、結局、地域独自の文化が育たなかった。

■浜通り

阿武隈山脈を背にして、太平洋に沿って、上から相馬、原町、いわき市と続く線が「浜通り」である。小藩分立の福島県にあって、相馬は6万石の小藩でありながら、明治の廃藩置県まで安泰を保っためずらしい藩である。「これが東北か」と錯覚するようなどころである。

冬は雪が少なく、温暖、気質も開放的で、よそ者に対しても身内同然のつき合いをしてくれる。東北人に多い東京コンプレックスなど、まったくとっていいほどない。

いわき市はもともと常盤国であるから、茨城県といってもおかしくない。いわき弁は茨城弁に似ているので、関西や中国地方の人にはちょっと理解しにくいかもしれない。それもまるで敬語がない感じさえる。大らかで陽気である反面、創造性、計画性に乏しい面があるので、調子のよい話には慎重に対応したほうがよいだろう。

■会津若松

会津若松は、会津百万石といわれた雄藩であった。三重・松坂から入藩した蒲生氏郷は、黒川城を若松城と改名し、頑丈な城を築き、市を取り入れ、城下町として活力のある町にした。江戸期から幕末まで、会津、平、中村、棚倉、白川、二本松、泉、福島、三春、湯長谷という中藩や小藩が複雑に入り組んでいた。

1868(慶応4・明治元)年の戊辰戦争で会津は朝敵となり、崩壊する。1871(明治4)年には、二本松、平、若松の3県にまとめられ、二本松を福島県と改称し、他の2県を吸収合併した。海岸地方を併合したのは、会津の抵抗を制圧するためでもあった。どう見ても県庁は会津若松市に置くべきところを、当時は僻地のような福島に県庁を置き、その呼称をとって福島県とした。大正に入ると、福島には多くの高等専門学校が創設された。

(1)

横濱プロバス倶楽部

平成29年春季移動例会

みぎのくじ行

ガイドブックレット

平成29年4月13日刊行

会長 岩城孝子

コординエト 松下尚雄

ブックレット編集 中村寛

発行 横濱プロバス倶楽部

MAP D-3

1999年に開園した。で、関東大震災なので、関係資料や秀棟の外観を復元



長野口記念公園

横濱プロバス倶楽部 移動例会

- 例会日：平成29年4月13日(木)～14日(金) 1泊2日
- 行先：福島県 会津若松方面
- 出発：4月13日(木)午前7時30分 横浜駅西口天理ビル前
- 解散：4月14日(金)午後8時(予定) 同上

【行程】

第1日目:4月13日(木)

横浜7:30	—(東北道)—	<2回休憩>	—	福島西IC
—	福島駅付近にて福島	根本グループと交流 (屋 食)	12:00~13:30	—
—	郡山JCT	—(磐越道)—	野口英世記念館	14:30~15:20
—	東山温泉着	16:00	着後、倶楽部移動例会	夜:宴会

第2日目:4月14日(金)

—	ホテル発8:30	飯盛山・白虎隊史跡	8:45~9:45	—
—	鶴ヶ城と買物案内	10:00~11:30	市内で昼食	—
—	R118 会津西街道	大内宿	13:10~14:10	—
—	塔のへつり	14:30~15:20	道の駅「しもごう」<休>	—
—	白川IC	—(東北道)—	<1回休憩>	横浜着 20:00

〔宿泊ホテル〕

会津若松温泉・庄助の宿 瀧の湯 TEL0242-29-1000

野口英世 (1876(明治9) 11.9 旧若松県 新大内(現)三戸市) 三戸藩(現 磐前代町) 三越湯で
野口佐代助 志可(功)の長男として生れる。
明治32年5月 横濱海軍病院で 疫疾医官補として勤務。
昭和3年5月21日 西アフリカで 黄熱病のため死去。享年51才。

会津「ならぬものはならぬ」

戊辰戦争を口火に、会津・鶴ヶ城をめぐる攻防戦が約1カ月続いた。このとき最大の山場になったのが会津戦争である。この戦いに敗北した会津藩は、1869(明治2)年に南部領から削った陸奥3郡(三戸郡、北郡、二戸郡)と北海道4郡が与えられ、斗南藩となった。

当時、青森県の下北半島の斗南は人の住めるところではなかった。薩長は会津藩から豊かな会津盆地をとりあげ、この地を3万石と評価したが、実質は6000~7000石の荒涼の地であった。藩士とその家族1万7000人が和船に乗って次々と移住し、悲惨な生活を強いられた。その後、1871(明治4)年に廃藩置県となり、斗南は消滅した。

会津若松の日新館には、「ならぬものはならぬ」の掟がある。藩は幼少の頃から、「年長者のいうことに背いてはならぬ」「年長者にはお辞儀をすること」「虚言をいうことはならぬ」「卑怯な振る舞いはならぬ」「弱い者をいじめてはならぬ」「戸外でものを食べてはならぬ」「戸外で婦人と言葉をかわしてはならぬ」という掟を徹底的に教えこんだ。まさに強情一直線の会津魂であった。

全国三番目の面積

「東北6県とはどこか」とたずねると、だいたい5県まではスラスラと答えるが、福島はなかなか出てこない。山梨県や会津と答える人もいる。福島県はそれほど特徴がなく、話題性のない県といえる。北海道や岩手県に次いで全国で三番目の面積を持つが、知っている人は意外に少ない。

実際、その広さは、現地を訪れて、自分の目と足で見ても感じられない。北海道の広さは現地に行けば実感できるが、福島は現

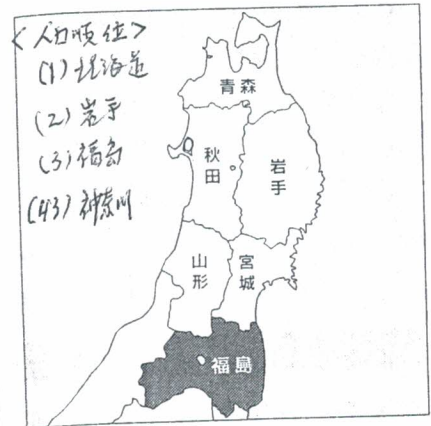
地をまわり、地図を広げてはじめて、その広さがわかる。

これは奥羽山脈、阿武隈山脈という巨大な二つの山脈が縦走し、自然の垣根が広さを分断しているからである。そのため、阿武隈山脈から太平洋岸に点在する相馬市からいわき市(昔は磐城)までを「浜通り」といい、両山脈にはさまれた福島市、二本松市から郡山市までを「中通り」といい、会津を総称して「会津」という。

福島は気候や四季の変化、風俗も違うため、1県で見ることではできない。「浜通り」「中通り」「会津」の三つに区分して、情報を分析することが大切である。

守りつづぐ伝統的価値観

「ならぬものはならぬ」の掟が根強くあるためか、福島県人の伝統的価値意識は強い。「自分の父もしくは母を手本に生きてゆきたい」「人は結婚するのが当たり前」「日頃つき合っている親戚は多い」「神や仏に願い事をするとかなえてくれそうな気がする」と答える人が多い。また祖先への信仰心も強い。



横濱市会津区にある

長浜野口記念公園(長浜ホールと細菌検査室)

かつての長浜検疫所の施設「細菌検査室」を保存し、長浜ホールを新設した公園で平
「細菌検査室」は野口英世が半年間、検疫医官補として働きペスト菌を検出した施設
よって倒壊、翌年再建。野口英世ゆかりの研究施設としては日本に現存する唯一の
昭和初期に使用された器具類が展示され自由に見学できる。長浜ホールは当時の
したもので、コンサート等が開かれ市民の憩いの場となっている。
☎045-782-7371(長浜ホール)
🕒シーサイドライン幸浦駅より徒歩15分、京急能見台駅より徒歩15分
🌐http://www.nagahama-hall.com/

旧細菌検査室

🕒9:00~17:00
📅3月末年始(12/29~1/3、
月1回程度の施設点検日)
🆓無料

📍〒260-0801 長浜NY
📍ワードローン基地



CHECK! 大内宿の2大祭りにも注目!

夏 7月2日 大内宿半夏祭り
●おうちじゅくはんげまつり
後白河天皇の皇子、高倉宮以仁王の御神体が、年に一度集落内を遡御する祭礼。毎年7月2日に繁栄と豊穡を祈願し行なわれる。
TEL 0241-68-0477

冬 2月第2土・日曜 大内宿雪まつり
●おうちじゅくゆきまつり
ハイライトは夕方の御神火厳火。高倉神社から御神火をいいたたい下帯参の男たちが集落を走り、メインステージのたいまつべんを灯す(→P.11)。
TEL 0241-68-0477

ここも見学しよう

江戸の昔をしのばせる展示館
⑦ 大内宿町並み展示館
●おうちじゅくまちなみでしんかん
かつて大名の宿として利用されていた本陣を復元。団扇裏や機械織り機など、当時をしのばせる生活道具を展示。殿様が休憩した上段の間や檜風呂なども再現されている。
TEL 0241-68-2657 9:00~16:30 休 月
250円、小人150円 地下郷町大内山本8
MAP P.104-105

以仁王伝説に触れる
⑧ 高倉神社
●たからじゅく
平清盛との戦いに敗れた高倉宮以仁王(後白河天皇第2皇子)と、王の愛馬である名馬、運針筆を祀った神社。境内には樹齢800年の大杉もある。
TEL 0241-68-3611 (大内宿観光協会)
境内自由 地下郷町大内 250円、700-999

茅葺き民家
Best撮影スポットはココ!
通りの突き当たりにある子安観音から徒歩1分が一望できる

茅葺き屋根が連なる風景は江戸時代にタイムスリップしたよう

子安観音

浅沼食堂 P.890

揚げたてはふんわり
おからドーナツ 1個160円

0241-68-2950
8:00~17:00(冬季は大宮の場合は販売が4~11月の土・月曜、祝日の9:30頃) 昼休 10:00~11:00
地下郷町大内山本40

名物しいんごろうを
5 大内宿みなとや
一飯を半つきにして丸めて竹串に刺し、自家製のじゅうねん味噌をぬり、炭火で焼いたしいんごろうが名物。
TEL 0241-68-2933 9:30~16:30 休 不定休(12月中旬~3月中旬は要予約) 地下郷町大内山本34
MAP P.104-105

名物しいんごろうを
1 本家玉屋
手打ちそばのほか、古代米を使用したおもち500円やカレー700円が好評。店頭で焼いている黒米入りきんつばも食べてみたい。
TEL 0241-68-2946 2~11月、8:30~16:30(冬季は9:00~16:00) 期間中木曜休 地下郷町大内山本3
MAP P.104-105

6 分家えびす屋
金山町の玉梨豆腐茶屋の豆乳とおからを使って、おからドーナツはやさしい味わい。揚げたてを店の前でいただくのも楽しい。
TEL 0241-68-2950 8:00~17:00(冬季は大宮の場合は販売が4~11月の土・月曜、祝日の9:30頃) 昼休 10:00~11:00
地下郷町大内山本40

3 本家叶屋
色とりどりのちりめん小物
約100種類の色鮮やかなちりめんの小物たちが店頭には並び、郷土色豊かな小物は価格も手ごろで、おみやげにも喜ばれます。
TEL 0241-68-2954 4~11月、8:00~17:00 期間中不定休 地下郷町大内山本48
MAP P.104-105

4 萬屋
べつたら餅を食べ歩きのお供に
店頭で焼くべつたら餅をはじめ、手打ちそば、内産のヤマブドウのジュースやソフトクリームなどが楽しめる。
TEL 0241-68-2929 8:30~17:00(冬季は9:00~16:00) 休 不定休(冬季は大宮の場合は休) 地下郷町大内山本32
MAP P.104-105

2 加登屋
香りのいい手作り餅
大内宿名物の餅振子製造販売。13日間かけて作るという餅振子は、ほんのりとトチの実の香りが漂う、やわらかな食感。
TEL 0241-68-2941 3月中旬~12月上旬、8:30~17:30 期間中不定休 地下郷町大内山本50
MAP P.104-105

会津市街道の宿場
大内宿
重要伝統的建造物群保存地区

古代米のメニューが楽しめる
1 本家玉屋
手打ちそばのほか、古代米を使用したおもち500円やカレー700円が好評。店頭で焼いている黒米入りきんつばも食べてみたい。
TEL 0241-68-2946 2~11月、8:30~16:30(冬季は9:00~16:00) 期間中木曜休 地下郷町大内山本3
MAP P.104-105

2 加登屋
香りのいい手作り餅
大内宿名物の餅振子製造販売。13日間かけて作るという餅振子は、ほんのりとトチの実の香りが漂う、やわらかな食感。
TEL 0241-68-2941 3月中旬~12月上旬、8:30~17:30 期間中不定休 地下郷町大内山本50
MAP P.104-105

風雨が刻んだ大自然の芸術作品
塔のへつり とうのへつり
「へつり」とは、会津の方言で断崖のこと。長い時間のなかで、川の水や風雨によって浸食、風化を繰り返して削られた断崖が見事な景勝地に。国の天然記念物にも指定。
TEL 0241-69-1144 (下郷町観光協会)
見学自由 80台 地下郷町五島下夕林5319 会津鉄道塔のへつり駅から徒歩5分
TEL 0241-700-1000 MAP P.93 A-2

初夏になると岩肌
蔵の花が咲く

へつり工房 ◆へつりこうぼう
職人技を見学できる、こけしの製造・販売店。男女一対となった夫婦こけしが人気。男女の表情が微妙に違い、大きさもさまざま。絵付け体験も楽しめる(400円~、要予約)。
TEL 0241-67-4062 4~11月、9:00~17:00 期間中不定休 休 なし 地下郷町塔のへつり 会津鉄道塔のへつり駅から徒歩3分
TEL 0241-700-0995 MAP P.93 A-2

南会津の特産品がそろそろ
まちの駅下郷町物産館 まちのえきまごうまち ぶつさんかん
山の幸、味噌、野菜など下郷町の名産品が直販で安く手に入る物産館。飲食コーナーでは手打ちそばやジャージー牛ソフトクリーム、マスバーガーなどが人気。
TEL 0241-67-4433 9:00~17:30 休 無休 80台 地下郷町五島道上3177 会津鉄道塔のへつり駅から徒歩15分
TEL 0241-700-1205 MAP P.93 A-2

匠が作る昔ながらのこけし
へつり工房 ◆へつりこうぼう
職人技を見学できる、こけしの製造・販売店。男女一対となった夫婦こけしが人気。男女の表情が微妙に違い、大きさもさまざま。絵付け体験も楽しめる(400円~、要予約)。
TEL 0241-67-4062 4~11月、9:00~17:00 期間中不定休 休 なし 地下郷町塔のへつり 会津鉄道塔のへつり駅から徒歩3分
TEL 0241-700-0995 MAP P.93 A-2

南会津の特産品がそろそろ
まちの駅下郷町物産館 まちのえきまごうまち ぶつさんかん
山の幸、味噌、野菜など下郷町の名産品が直販で安く手に入る物産館。飲食コーナーでは手打ちそばやジャージー牛ソフトクリーム、マスバーガーなどが人気。
TEL 0241-67-4433 9:00~17:30 休 無休 80台 地下郷町五島道上3177 会津鉄道塔のへつり駅から徒歩15分
TEL 0241-700-1205 MAP P.93 A-2